

金沢大学 神経内科

年 報

第 12 号

2011 年 1 月～2011 年 12 月



金沢大学大学院 医学系研究科 脳医科学専攻
脳病態学講座 脳老化・神経病態学(神経内科学)

<http://neurology.w3.kanazawa-u.ac.jp>

目 次

年報第12号の刊行にあたって	1
[1] 出来事・人事異動	3
[2] 診 療	12
[3] 症例検討会・各種カンファレンス	18
[4] 教育活動	26
[5] 業 績	32
(1) 論文・著書	32
(2) 学会・研究会等	47
(3) その他の対外活動（委員会、取材など）	67
(4) 学会、研究会等の主催	70
[6] 研究助成	73
[7] 学位・専門医等	76
[8] 褒 賞	76
[9] 特 許	76
[10] 関連病院の施設紹介	77
[11] 大学在籍者名簿	85
編集後記	87

年報第12号の刊行にあたって

2011年(平成23年)の教室の記録を年報第12号としてまとめました。教室の診療、教育、研究活動では、学内、関連施設、国内外の共同研究者など多くの方々のご支援をいただき、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2011年は震災の年として長く記憶される年になりました。被災した方々に心からお見舞い申し上げますと共に、犠牲になったの方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

2011年2月22日、ニュージーランド南島のクライストチャーチ市をマグニチュード6.3の地震が直撃しました。市内の多くの建物が倒壊し多数の死傷者が出ました。この地震で私達の神経内科病棟の看護師であった百萬元輝さんが犠牲になりました。彼は患者さんの信頼も厚い優秀な看護師で、笑顔が爽やかな若手のエースでした。国際看護師をめざしてクライストチャーチに留学、そこで被災して帰らぬ人となりました。志半ばで倒れた彼の無念をかみしめました。

クライストチャーチで行方不明者の捜索が続いている中、3月11日、わが国では東日本大震災が発生しました。三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9の地震で、岩手、宮城、福島3県の沿岸は、高さ10メートルを超す大津波に襲われ、壊滅的な被害を受け、死者・行方不明者は2万人近くに達しました。東京電力福島第一原子力発電所では、全電源喪失で冷却不能になり相次いで爆発が起き、大量の放射性物質が外部に拡散、原発事故の深刻度はチェルノブイリ原発事故(1986)に並ぶ「レベル7」と発表されました。現在も多数の人々が大変な避難生活を送っておられます。

私達の教室から仙台の広南病院に赴任していた古井英介Dr(脳血管内科)とは、震災後、早い時期に連絡がつかしました。NHKテレビが被災地の医療事情を取材した際には、古井Drが被災者に多発する血栓症の予防などで活躍している様子が報道されました。震災後の復興や原発事故問題のため、今後、息の長い支援・対策が必要な状況が続きます。その中で私達が関わる医療・医学が果たすべき役割には非常に大きいものがあります。この時代に生きている私達は、

それぞれの立場で最も貢献できることを継続的にやっていくことが大切と思います。

2012年1月1日、当教室は開設30周年を迎えました。1981年4月に附属病院に神経内科設置が認められ、1982年1月に初代教授の高守正治名誉教授がご着任になられ、当科の診療・教育・研究がスタートしてから30年になります。高守名誉教授の後任として2000年1月に私が着任させていただいてから12年がたち、年報も本号が第12号になります。何も無いところから教室を作り上げられた高守名誉教授を始めとする創成期の方々のご苦勞に感謝いたしますと共に、当教室の誕生・発展を多方面からご支援、ご指導くださった金沢大学・大学病院・医学部（医学類）・大学院医学系研究科、文部科学省・厚生労働省、内外の大学、病院、研究施設等の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

教室では、この30年間の活動を記録に留めるために、30周年記念誌を発行することにいたしました。そのため、教室内に編集委員会を立ち上げ、昨年来、多くの方々からご寄稿をいただくなど、編集作業が進んできております。この年報を発刊後、なるべく早い時期に30周年記念誌を発刊できればと存じます。

教室の使命は、優れた診療や研究を実践することによって次世代を担う人間を育て開花させ、社会に貢献することにあります。1年、1年の充実した着実な積み重ねを30年、50年、100年、—と継続することによって、それが達成され社会に貢献する教室の伝統が形づくられることを願っております。

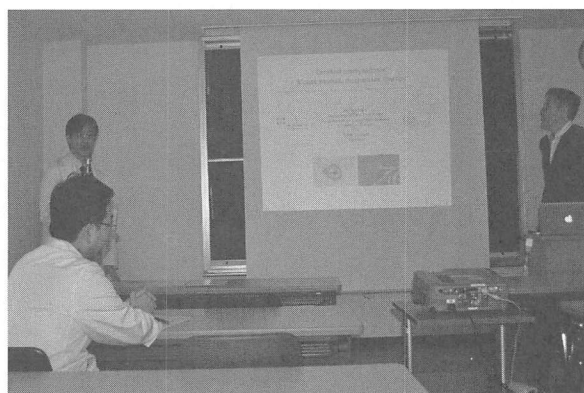
この年報第12号を皆様方に御高覧いただき、今後も一層の御指導を賜わりますことができましたら誠に幸いに存じます。

2012年2月
山田正仁

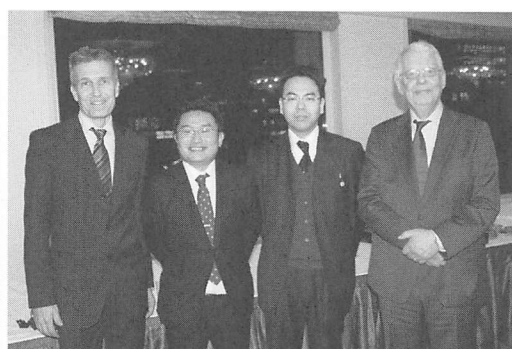
[1] 出来事・人事異動

(1) 2011年医局の出来事

2011年1月25日 Mathias Jucker 先生（チュービンゲン大学細胞神経学教授）が当科を訪問、第20回ニューロサイエンスセミナーにおいて、脳アミロイドシスの動物モデルに関する講演を行って頂きました。（25ページ参照）



2011年1月27日 International Symposium on Transmission of Amyloidosis をKKR ホテル東京で開催しました。Per Westermark 先生（ウプサラ大学免疫遺伝病理学教授）と Mathias Jucker 先生（チュービンゲン大学細胞神経学教授）をお招きし、Westermark 先生からは、AA アミロイドシスの伝播について、Jucker 先生からは、脳 A β アミロイドシスの伝播についての講演を行って頂きました。（70ページ参照）

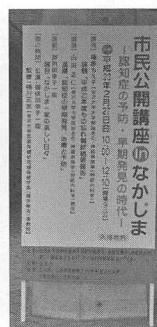


2011年2月19-20日 医局スキーツアー（赤倉温泉スキー場／赤倉温泉、新潟）

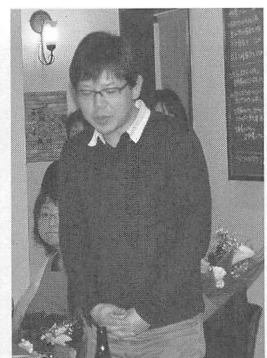


2011年2月27日 市民公開講座 in なかじま「認知症の予防・早期発見の時代」を開催（場所：能登演劇堂）（71ページ参照）

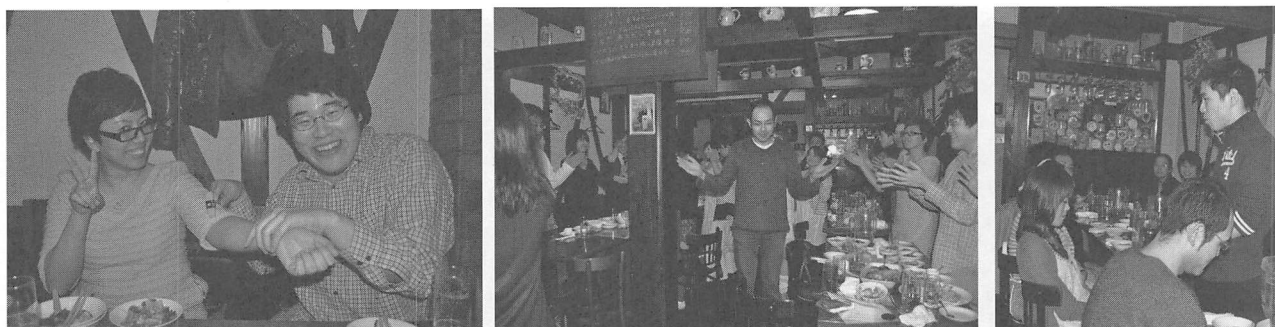
主催：当教室／(財)北陸産業活性化センター



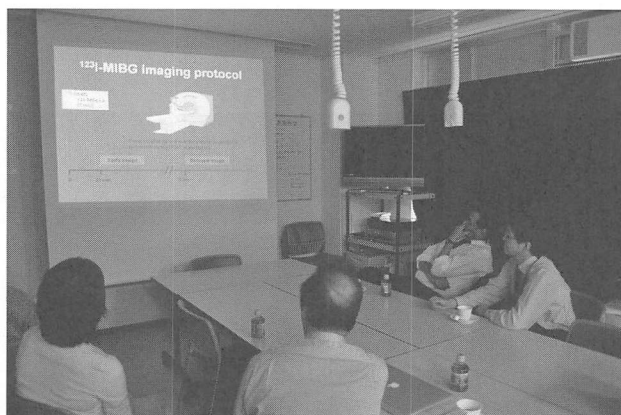
2011年3月24日 医局送別会（ヴァンバール、金沢）



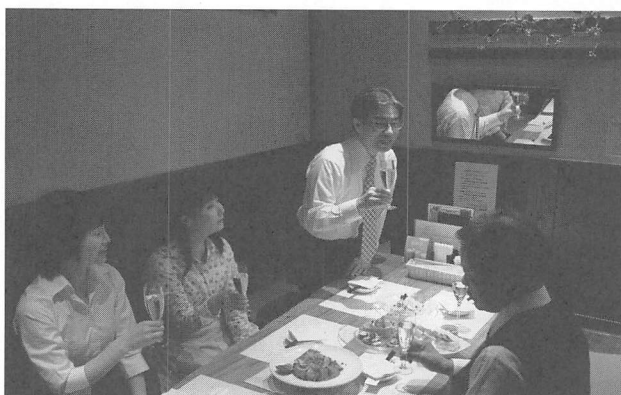
2011年4月26日 新人歓迎会（びるぜん、金沢）



2011年5月13日 Michael Weiner 教授（UCSF US-ANDI の主任研究者）が当科を訪問、画像研究グループの研究ミーティングを行いました。



2011年5月18日 金沢大学神経内科同門会（さくら、名古屋）



2011年6月28日 金沢大学神経内科医局説明会（ヴァンベール、金沢）



2011年7月23-24日 第7回金沢神経内科アカデミーを開催
(30～31ページ参照)

2011年8月19日 プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班による、SSPE・PML ワークショップ 2011 を KKR ホテル東京で開催しました。(72ページ参照)

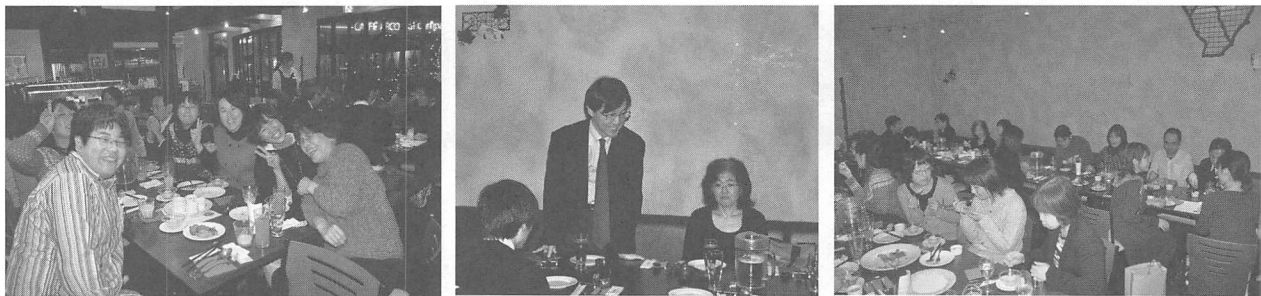


2011年9月1日 第21回ニューロサイエンスセミナー
垣塚 彰先生（京都大学教授）（25ページ参照）



2011年12月17日 金沢大学神経内科同門会・学術集会/総会
(9～11ページ参照)

2011年12月20日 医局忘年会 (ぶどうの木、金沢)



<2011年5月 医局集合写真>

(2) 大学人事異動

2011年4月

<転入>

赤木 明 生：福井県立病院より医員・大学院博士課程へ

小松 潤 史：黒部市民病院より医員へ

<転出>

吉田 光 宏：金沢大学より国立病院機構北陸病院へ

中村 桂 子：金沢大学より福井県立病院へ

<昇任>

小野 賢二郎：助教より講師へ

篠原 もえ子：医員より助教へ

2011年10月

<転入>

濱口 毅：Tübingen 大学より帰国し助教に復職

<転出>

坂井 健 二：金沢大学附属病院助教を退職し Southampton 大学へ留学

(3) 2011年 金沢大学神経内科同門会学術集会／総会

日 時：12月17日（土）

場 所：ホテル金沢

＜学術集会＞

I 症例検討会

座長 佐村木 美 晴

- 1) 「精神症状で発症した抗 NMDAR 抗体陽性脳症の高齢男性例」

金沢大学 赤 木 明 生

- 2) 「26年間に脾腫、難聴、髄膜腫、ぶどう膜炎（眼球摘出）、肺多発結節、肥厚性硬膜炎、静脈血栓、左側頭葉の浸潤性病変を次々と生じた43歳女性例」

上越総合病院 福 原 信 義

- 3) 「蝶形骨洞炎から下垂体炎を生じた1例」

福井県立病院 町 谷 知 彦

- 4) 「脳幹病変を認めた若年女性の1例」

富山市民病院 森 永 章 義

- 5) 「非定形脳出血の1例」

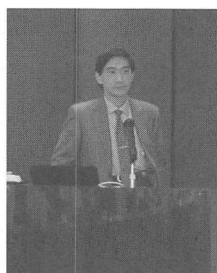
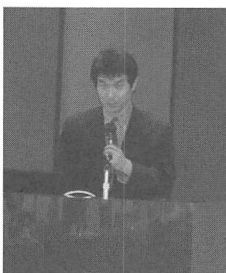
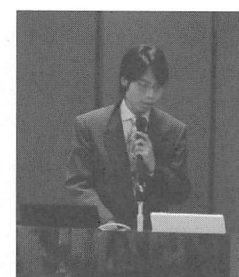
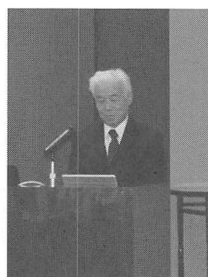
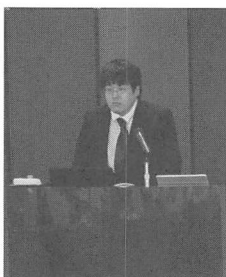
石川県立中央病院 山 口 和 由

- 6) 「TIA 様症状で入院となった58歳女性」

厚生連高岡病院 安 川 善 博

- 7) 「こんなとき、あなたならどうする？ 当院のヒヤリ・ハット、アクシデントレポートから」

医王病院 駒 井 清 暢



II 特別講演

座長 岩 佐 和 夫

「チュービンゲンでアルツハイマー病の研究を行って参りました」

金沢大学 濱 口 毅



III 表 彰

高 守 正 治 同門会会長

1) 第5回 金沢大学神経内科同門会高守賞

石川県立中央病院 野 崎 一 朗

- Nozaki I, *et al.* Prospective 10-year surveillance of human prion diseases in Japan. *Brain* 133:3043-3057, 2010

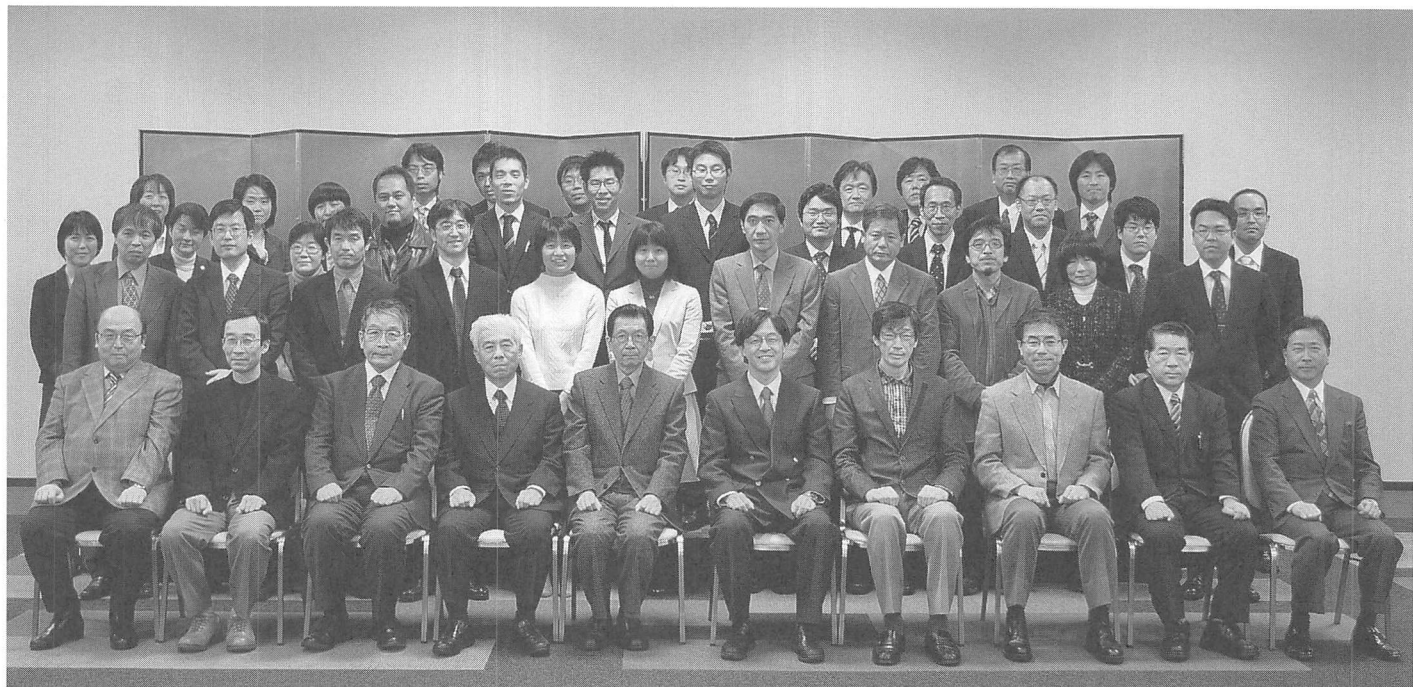
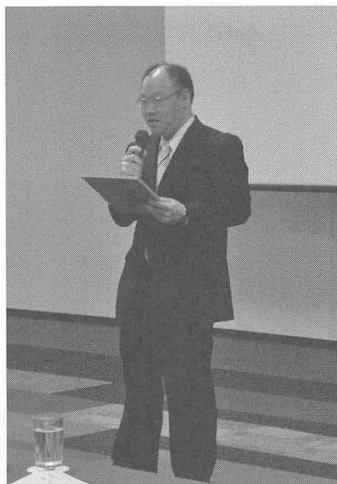
2) 第5回 金沢大学神経内科同門会奨励賞

医王病院 古 川 裕

- Furukawa Y, *et al.* The efficacy of radiation monotherapy for Tolosa-Hunt syndrome. *J Neurol* 257:288-290, 2010

医王病院 池 田 篤 平

- Ikeda T, *et al.* Polyneuropathy caused by cobalt-chromium metallosis after total hip replacement. *Muscle Nerve* 42:140-143, 2010.
- Ikeda T, *et al.* CSF tau protein is a useful marker for effective treatment of superficial siderosis of the central nervous system: two case reports. *Clin Neurol Neurosurg* 112:62-64, 2010



金沢大学神経内科同門会集合写真（2011年12月17日）

[2] 診 療

(1) 外来実績

現在外来診療は、初診医と再診医をわけて行っています。今年度の外来患者数、初診患者数は前年とほぼ同様で2009年以降ほぼ横ばいとなっています。

外来診療においては、頭部 MRI などの画像検査が欠かせませんが、今年度は MRI の検査枠がふえて予約がとりやすくなり、緊急を要する症例は当日に MRI を撮像して頂けるなど、放射線科、放射線部のご努力・ご協力のおかげで診療しやすい環境となっています。神経内科を受診する患者様は歩行や車いす操作に介助を要する方も多く、認知症のある方はトイレに行った後診察室の方向が分からなくなり、院内で迷子になることもしばしばあります。今後の課題として、そのような患者様をサポートして下さるコメディカルスタッフが配置できれば良いなあとと思います。

当科の外来は完全予約制となっており、来年度も継続予定のため、他院からご紹介いただく先生方には引き続きお手数をおかけしますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多忙の中、大学病院の外来診療をお手伝い頂いた小竹先生、高橋先生、外来事務の蔵谷さん、泉さんには、この場を借りて深謝いたします。

(外来医長 篠原 もえ子)

表 外来患者数 (2011年)

月	医 事 課 集 計*				神 経 内 科 集 計			
	患者数 合計(人)	再診	初診	入 院 中 他科受診	初 診			
		患者数 (人)	患者数 (人)	患者数 (人)	初診患者数 (人)	院内紹介 (人)	院外紹介 (人)	紹介状なし (人)
1	561	536	25	26	49	25	21	3
2	542	515	27	22	54	29	23	2
3	645	620	25	41	69	47	20	2
4	613	584	29	60	73	45	24	4
5	550	534	16	32	46	29	12	5
6	703	670	33	28	80	46	33	1
7	611	585	26	23	59	37	21	1
8	622	586	36	21	71	39	30	2
9	623	598	25	41	65	41	22	2
10	641	616	25	34	75	49	25	1
11	571	549	22	39	62	40	19	3
12	632	613	19	37	59	41	16	2
合計 (前年比%)	7314 (103.0)	7006 (103.1)	308 (100)	404 (80.2)	762 (98.8)	468 (95.5)	266 (105.6)	28 (96.6)

* 医事課集計は入院中の他科依頼患者を除く

2011年度外来担当医

曜 日	月	火	水	木	金
初 診	岩佐 坂井(9月まで) 濱口(10月より)	篠原	篠原 小竹	小野	高橋 ^和 佐村木
再 診	山田* 岩佐 小野	篠原	坂井(9月まで) 濱口(10月より) 吉川*	山田* 岩佐 佐村木	
もの忘れ外来 (初診) (午後)				山田/小野 佐村木/篠原	

* 紹介患者初診含む

(2) 病棟

神経内科病棟は東2階にあり、病床数は20床です。今年(2011年1月～12月)の退院患者の総のべ人数は190例でした。私自身は2011年10月から病棟に復帰したのですが、常に20名前後の患者さんに入院を待って頂いている状態で、2-3か月待ちというのが当たり前になってしまっています。何とか改善したいと、病棟主治医とともに日々努力しているのですが、なかなか改善の糸口が見つからないといった状態です。看護師、ソーシャルワーカーとの連携をさらに図って、在院日数を減らしていく方向で努力を続けていくつもりです。

入院症例の内訳は以下に示すとおりで、例年通り変性疾患が多くを占めています。筋疾患や末梢神経障害など、診断に電気生理学的検査や病理学的検査といった少し手間のかかる検査を要することがある疾患が変性疾患に続いており、大学病院の役割は果たしているのではないかと考えています。

火曜日のカンファレンスについては、もう少し時間の短縮が必要と考えています。どうしてもカンファレンスが長くなってしまうので、その後の教授回診が患者さんの昼食と重なってしまっています。一例ずつ丁寧に症例検討を行うことは、神経内科の最大の特徴でもありますのでその質を下げることは出来るだけ避けたいと考えていますが、何とか来年はもう少し時間が短縮できるような工夫を考えたいと思います。

最後になりましたが、病棟運営には医師や看護師以外にもソーシャルワーカー、病棟事務、医局事務および技師、臨床心理士等の方々の多大なご助力で成り立っているものであり、ご協力いただいたことに深く感謝するとともに、今後も円滑な運営にご協力をお願いしたいと思います。

(病棟医長 濱口 毅)

<疾患内訳>	(例数)
血管障害	17
脳梗塞	16
脳出血	1
感染症・炎症性疾患	16
髄膜炎	5
肥厚性硬膜炎	7
脊髄炎	2
Creutzfeldt-Jakob 病	2
変性疾患	49
筋萎縮性側索硬化症	17
脊髄小脳変性症	2
痙性対麻痺	1
Parkinson 病	7
進行性核上性麻痺	5
多系統萎縮症	6
Lewy 小体型認知症	1
パーキンソニズム	2
球脊髄性筋萎縮症	1
Alzheimer 病	4
Machado-Joseph 病	2
歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症	1
筋疾患	23
筋ジストロフィー	3
多発筋炎	3
封入体筋炎	7
皮膚筋炎	1
重症筋無力症	9

末梢神経障害	3 2	
家族性アミロイドポリニューロパチー		9
抗 MAG 抗体陽性ニューロパチー		5
Guillain-Barré 症候群		1
Lewis-Sumner 病		2
その他の末梢神経障害		1 5
脱髄性疾患	7	
多発性硬化症		6
視神経脊髄炎 (抗 AQP 抗体陽性)		1
てんかん	5	
内科・全身性疾患に伴う神経疾患	5	
サルコイドーシス		1
傍腫瘍性症候群		1
甲状腺眼症		2
神経 Sweet 病		1
腫瘍	2	
脳腫瘍		1
脊髄腫瘍		1
その他	3 4	
精神疾患		2
不随意運動		1
脊椎関連疾患		7
痙性斜頸		2
水頭症		3
外眼筋炎		1
Tolosa-Hunt 症候群		1

脳表ヘモジデリン沈着症	1
多発脳脊髄病変	4
間欠性斜視	1
肺癌椎間孔浸潤	1
動眼神経麻痺	1
視神経炎	1
悪性症候群	1
交感神経緊張型低血圧	1
急性間欠性ポルフィリン症	1
抗 NMDAR 抗体陽性脳症	1
ミトコンドリア異常症	1
睡眠時無呼吸症候群	1
上眼窩裂症候群	1
特発性眼窩炎	1
計	190 例

[3] 症例検討会・各種カンファレンス

(1) 症例検討会

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
1/11	57	F	亜急性進行性の意識障害、ミオクローヌスを呈し脳波上 PSD を認めた非ホジキンリンパ腫（骨髄移植後）の 1 死亡例	Consciousness disturbance (etiology unknown)	篠原
1/18	39	M	6 年間の経過で再発がみられた Tolosa-Hunt 症候群の 1 例	Tolosa-Hunt syndrome	高橋良、岩佐
2/1	80	M	多発脳脊髄病変の 1 例	Multiple sclerosis	佐村木、坂井
2/8	39	F	膿瘍を伴った細菌性髄膜炎の 1 例	Bacterial meningitis	能登、吉田
2/15	73	M	二分脊椎症に進行性四肢筋力低下を認めた 1 例	Motor neuron disease	田中、坂井
2/22	48	F	外眼筋の不随意運動と考えられた斜視の 1 例	Intermittent exotropia	高橋良、岩佐
3/1	84	M	DWI で大脳皮質のびまん性高信号域を呈したクリプトコッカス髄膜脳炎の 1 例	Cryptococcal meningoencephalitis	中村、吉田
3/8	78	F	手袋靴下型の感覚障害を呈した頸椎症性脊髄症の 1 例	Cervical spondylotic myelopathy	能登、吉田
3/15	43	M	20 歳で GBS に罹患し、CMV 感染に関連し再発した 1 例	Guillain-Barré syndrome	高橋良、岩佐
3/22	68	F	パーキンソニズムで発症した MJD の 1 例	Machado-Joseph disease	田中、坂井
3/29	79	F	筋炎の併発が疑われた末梢神経障害の 1 例	Charcot-Marie-Tooth disease	佐村木、坂井
4/5	63	F	傍脊柱筋、下肢後面に筋萎縮を認めたミオパチーの 1 例	Muscular dystrophy	高橋良、岩佐
4/12	68	M	異常行動が先行したけいれん発作の 1 例	Anti-NMDA-Receptor encephalitis	赤木、岩佐
4/19	67	F	唾液腺炎を伴ったミエロパチーの 1 例	Myelitis with Sjögren syndrome	能登、小野
4/26	40	M	右片麻痺を繰り返し認めた 1 例	Conversion disorder	津川、小松、坂井

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
5/10	57	M	単独 ACTH 欠損症の経過中に不随意運動を来した MND の 1 例	Motor neuron disease	高橋良、佐村木
5/24	74	M	軸索障害型末梢神経障害で傍腫瘍症候群との鑑別が問題となった 1 例	Peripheral neuropathy	山口、能登、小野
5/31	52	F	脳炎との鑑別が必要であったミトコンドリア脳筋症が疑われた 1 例	Mitochondrial encephalomyopathy	赤木、岩佐
6/7	27	F	起立後に緩徐な血圧低下を認めた 1 例	Sympathotonic orthostatic hypotension	小松、坂井
6/14	33	M	末梢神経の肥厚を認めた Lewis-Sumner 症候群の 1 例	Lewis-Sumner syndrome	山口、能登、小野
6/21	69	F	ステロイド治療中に筋力低下が進行した PBC 合併多発筋炎の 1 例	Polymyositis	高橋良、佐村木
6/28	70	F	胆嚢癌と縦隔腫瘍を合併した筋炎の 1 例	Polymyositis	小松、坂井
7/5	63	F	30 年の経過で手内筋の萎縮と翼状肩甲を呈した 1 例	Multiple mononeuropathy	池田芳、坂井
7/12	25	F	基底核の脳血流低下を呈した若年性 hemi parkinsonism の 1 例	Vascular Parkinsonism	能登、小野
9/6	50	M	長大な脊髄病変を合併した多発性硬化症の 1 例	Multiple sclerosis	小松、坂井
9/13	65	F	縁取り空胞と肉芽腫を伴ったミオパチーの 1 例	Inclusion body myositis with granuloma	能登、小野
9/27	63	M	小脳腫瘍術後 50 年後に非交通性水頭症を来した 1 例	Noncommunicating hydrocephalus	高橋良、佐村木
10/4	64	F	歩行障害、筋萎縮にて発症しパーキンソニズムを呈した 1 例	Multiple system atrophy	小松、坂井
10/11	55	F	両側眼窩炎の 1 例	Bilateral orbitis	池田芳、佐村木
10/18	46	M	筋力低下、感覚障害を伴う Werner 症候群疑いの 1 例	Werner syndrome Small fiber neuropathy	能登、濱口

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
11/1	39	M	HIV感染症に伴う多発脳病変の1例	Multiple brain lesions (etiology unknown)	高橋良、濱口
11/8	26	F	精神発達遅滞、脊髄終糸脂肪腫、末梢神経障害を呈した1例	Peripheral neuropathy	小松、岩佐
11/15	58	M	延髄・頸髄病変が疑われた Neurofibromatosis 1 の1例	Brain tumor	高橋良、濱口
11/22	44	M	亜急性末梢神経障害で発症し尖足拘縮を呈した1例	Peripheral neuropathy	能登、濱口
11/29	61	M	両側上眼窩裂症候群の1例	Bilateral superior orbital fissure syndrome	池田芳、佐村木
12/6	62	M	10年の経過で進行性の四肢筋力低下を来した1例	Spinomuscular atrophy	赤木、小野
12/13	37	F	失調・不随意運動・精神発達遅滞を認めた30代女性の1例	Dentatorubral-pallidoluysian atrophy	高橋良、濱口
12/20	65	M	Inclusion body myopathy with Paget of the bone and fronto-temporal dementia の1例	Inclusion body myopathy with Paget disease of the bone and frontotemporal dementia	小松、岩佐
12/27	36	M	亜急性進行性に四肢の運動感覚障害を呈した1例	Somatoform disorder	赤木、小野

(2) CPC(金沢大学/医王病院)

日付	年齢	性別	臨床診断	臨床担当医	病理診断	病理担当医
2/22	75	M	ALS	能登、高橋 _和 (医王)	ALS	石田 (医王)
2/22	79	M	ALS	田上 (医王)	ALS	坂井
4/19	79	M	MSA	石田 (医王)、廣畑 (医王)	MSA	石田 (医王)
4/19	89	F	AD	田上 (医王)	AD	坂井
4/24	79	F	CJD	岩佐、赤木	CJD	坂井、岩佐
6/21	59	M	MJD	石田 (医王)、本崎 (医王)	MJD	石田 (医王)
6/21	56	F	ALS	駒井 (医王)	ALS	坂井
8/30	77	M	ALS	高橋 _和 (医王)	ASL	石田 (医王)
8/30	85	M	DLB	駒井 (医王)	DLB	坂井
10/11	73	M	FTDP-17	石田 (医王)	FTDP-17、AD	石田 (医王)
12/13	62	F	ALS	高橋 _和 (医王)	ALS	石田 (医王)
12/13	60	M	BMD	古川 (医王)	Myopathy	石田 (医王)、赤木

(3) 生 検

疾患内訳（臨床診断（疑い病名含む））

筋	炎症性ミオパチー（多発筋炎・皮膚筋炎・封入体筋炎含む）	4
	サルコイドーシス	1
	ALS	2
	ミオパチー	5
	合計	12例
神 経	末梢神経障害（未分類）	2
	M蛋白陽性ニューロパチー	2
	Sjögren 症候群関連多発ニューロパチー	1
	Charcot-Marie-Tooth 病	1
	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	1
合計	7例	

所属内訳

所 属	検体数
金沢大学附属病院 神経内科	10
石川県立中央病院 神経内科	5
医王病院 神経内科、小児科	1
厚生連高岡病院 神経内科	1
金沢医療センター 神経内科	1
やわたメディカルセンター 神経内科	1
計	19

(4) 生検カンファレンス

日付	臨床診断	所属	担当医
2/1	多発筋炎	石川県立中央病院	松本
3/1	ミオパチー	医王病院	石田
	皮膚筋炎	石川県立中央病院	松本
3/8	皮膚筋炎	当科	中村、坂井
3/15	ミオパチー	石川県立中央病院	森永
3/29	CMT の疑い	当科	中村、吉田
	ALS の疑い	当科	田中、坂井
	肢帯型筋ジストロフィー	当科	高橋良、岩佐
4/26	末梢神経障害	当科	佐村木、坂井
6/28	M 蛋白陽性ニューロパチー	当科	佐村木
	末梢神経障害	当科	山口、能登
7/26	多発筋炎	当科	小松、坂井
8/23	ALS の疑い	石川県立中央病院	松本
9/27	ミオパチー	やわたメディカルセンター	品川
10/4	M 蛋白陽性ニューロパチー	当科	小松、坂井
10/11	CIDP	金沢医療センター	坂尻
11/22	ミオパチー	厚生連高岡病院	安川
12/20	Sjögren 症候群に伴う末梢 神経障害	当科	濱口
	サルコイドーシス	石川県立中央病院	山口

(5) 臨床神経セミナー

月1回、主に第3月曜日17時30分から神経内科、脳神経外科、神経精神科の3科合同で、症例検討会を行っています。2011年に神経内科から提示した症例を表に示します。

日付	年齢	性別	題名	主治医
2/21	80	M	多発脳脊髄病変の1例	佐村木、坂井
3/14	84	M	拡散強調画像にて大脳皮質のび慢性高信号を呈したクリプトコッカス髄膜炎の1例	中村、吉田
4/18	68	M	異常行動が先行したけいれん発作の1例	赤木、岩佐
5/16	40	M	右片麻痺を繰り返し認めた1例	小松、坂井
6/20	52	F	脳炎との鑑別が必要であったミトコンドリア脳筋症が疑われた1例	赤木、岩佐
7/25	25	F	基底核の脳血流低下を呈した若年性 hemiparkinsonism の1例	能登、小野
9/12	50	M	長大な脊髄病変を合併した多発性硬化症の1例	小松、坂井
10/17	63	M	小脳腫瘍術後50年後に非交通性水頭症を来した1例	高橋良、佐村木、濱口
11/21	26	F	精神発育遅滞、脊髄終糸脂肪腫、末梢神経障害を呈した1例	小松、岩佐
12/19	39	M	HIV感染症に伴う多発脳病変の1例	高橋良、濱口

(6) もの忘れ外来検討会

月に1回、外来主治医、各検査担当医、心理士、なかじまプロジェクト関係者が集まり、もの忘れ外来受診患者を中心に、病歴、神経学的所見、検査所見を元に、診断、治療方針の検討を行っています。当外来初診患者総数は2011年末までで1001名となりました。854名の検査後診断の内訳は369名(45%)がAlzheimer病、163名(20%)が軽度認知障害、148名(18%)が正常範囲ほかでした。

月(2011年)	検討症例数
1月	0例
2月	9例
3月	10例
4月	10例
5月	8例
6月	0例
7月	11例
8月	0例
9月	11例
10月	9例
11月	13例
12月	9例

(7) 大学院生研究発表会

日付	演者	題名
12/20	小林星太 (北陸大学薬学部 大学院博士後期課程)	神経型ニコチン性アセチルコリン受容体に対する新規自己抗体に関する研究

(8) ニューロサイエンスセミナー

- 第20回ニューロサイエンスセミナー：平成23年1月25日
Mathias Jucker: Professor, Department of Cellular Neurology, Hertie-Institute for Clinical Brain Research, University of Tübingen
“Cerebral amyloidosis: Mouse models, mechanisms, and therapy.”
- 第21回ニューロサイエンスセミナー：平成23年9月1日
垣塚 彰：京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野 教授
「神経変性疾患におけるVCP蛋白質の役割」

[4] 教育活動

(1) 神経系疾患系統講義

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

日付	項目	題名	講義担当者
4/13	総論	Neurology 入門 (1)	山田正仁
4/13	〃	Neurology 入門 (2)	山田正仁
4/15	〃	検査 (神経生理、髄液)	岩佐和夫
4/22	各論	変性疾患 (錐体外路系疾患・認知症疾患)	山田正仁
5/6	〃	変性疾患 (運動ニューロン疾患・脊髄小脳変性症)	小野賢二郎
5/13	〃	脳血管障害の診断と治療 (1)	篠原もえ子
5/27	〃	脳血管障害の診断と治療 (2)	佐村木美晴
6/3	〃	神経系感染症、脱髄	小野賢二郎
6/10	〃	神経筋接合部、筋疾患	吉川弘明
6/17	〃	末梢神経、自律神経	岩佐和夫
6/24	総論	検査 (病理)	坂井健二
7/1	各論	発作性、機能性疾患	吉田光宏*
7/8	〃	神経系の代謝性・中毒性・腫瘍性疾患、内科疾患に伴う神経障害	岩佐和夫
9/1	特別講義	神経変性疾患に共通する発症機序の解明を目指して	垣塚 彰**
12/2	〃	シナプスの構造、機能と免疫	高守正治***

*国立病院機構北陸病院神経内科診療部長/認知症疾患医療センター長・本学非常勤講師

**京都大学教授・本学非常勤講師

***本学名誉教授・本学非常勤講師

(2) 基本的臨床手技実習

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

2011年春・秋学期 総授業数 4回×5ターム= 計 20回

担当者：岩佐和夫、小野賢二郎、濱口 毅、坂井健二、篠原もえ子、佐村木美晴

(3) 臨床講義

●医学部医学科4年生（2010年度）

（2010年10月～2011年3月の9回のうち、2011年分 4回）

日付	年齢	性別	題名	疾患名	講義担当者
1/14	67	M	歩行時のふらつき	多系統萎縮症	山田正仁
1/21	82	M	急性の意識障害	細菌性髄膜炎	山田正仁
1/28	47	M	Sudden onset double vision and blepharoptosis	重症筋無力症	岩佐和夫
2/4	51	F	足に力が入りにくい・・・	筋萎縮性側索硬化症	山田正仁

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生（2011年度）

（2011年9月～2011年11月の9回）

日付	年齢	性別	題名	疾患名	講義担当者
9/30	77	M	左半身にしびれが・・・	脳梗塞	山田正仁
10/7	30	F	ま、まぶたが・・・	重症筋無力症	岩佐和夫
10/14	70	F	私は爪を切れない	家族性アミロイドポリニューロパチー	山田正仁
10/21	82	M	脳梗塞の後遺症だとおもったら・・・	抗MAG抗体陽性ポリニューロパチー	山田正仁
10/28	52	M	これで合ってるのかな・・・	Alzheimer病	山田正仁
10/31	30	M	立てない・・・	脊髄小脳変性症	岩佐和夫
11/11	66	M	段差でつまずくことが・・・	筋萎縮性側索硬化症	岩佐和夫
11/18	57	F	ものが二重に・・・	甲状腺眼症	岩佐和夫
11/25	62	M	失われ損なわれゆくすべて	多系統萎縮症	山田正仁

(4) 臨床実習 (BSL)

●医学部医学科5年生

学期	開始日	終了日	グループ数	学生総数
2010年度冬学期	1月15日	3月18日	3	18
2011年度春学期	4月14日	7月8日	5	30
2011年度秋学期	9月26日	12月16日	8	47

BSL スケジュール (月曜スタート)

曜日	午前	午後
月	9:00 ガイダンス	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診、10:00 医王病院見学	学生 CC
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	教授面接

BSL スケジュール (木曜スタート)

曜日	午前	午後
木	9:00 ガイダンス	
金	8:00 病棟グループ回診、10:00 医王病院見学	
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診	学生 CC、教授面接

教育活動は、4年生、5年生、6年生に対して行っています。

4年生には、系統講義で神経内科の基本を講義し、診断学実習では神経所見の取り方を教え、臨床講義、チュートリアルで診断・治療までの考え方の訓練・指導を行っております。本年度から秋学期に全ての臨床講義を行うことになり、学生は系統講義試験とも重なり大変そうでしたが初めて経験する臨床講義に興味を持って取り組んでいました。

5年生は臨床実習を行っています。実習内容はほぼ昨年度を踏襲しています。今年度も金沢医療センターと医王病院での学外実習にて急性期病院と神経難病を主に診療する病院での診療を見学することができ印象深かったようです。学外実習で御指導を賜りました新田先生、坂尻先生、駒井先生、石田先生には、この場をお借りし深謝いたします。

6年生の一部は、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）に参加しました。本年は5人の学生が参加し、主治医と同じ立場で入院患者を入院から退院まで担当し、さらに深く神経内科での診療について学んでいました。

（教育係 佐村木 美晴）

(5) 大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程）講義

坂井健二：病理病態学：神経系。（2011年7月22日、29日）

(6) 医薬保健学域 医薬類1年生「初学者ゼミ」

担当者：山田正仁（2011年7月26日）

(7) 平成23年度金沢大学医薬保健学域 医学類 オープンキャンパス「模擬講義」

担当者：山田正仁（2011年8月5日）

(8) 金沢大学医薬保健学域 薬学類「薬物治療検討会」

岩佐和夫：パーキンソン病。（2011年11月15日）

山田正仁：アルツハイマー病。（2011年11月16日）

(9) 第7回金沢神経内科アカデミー

当教室では、神経内科の魅力を医学部学生ならびに研修医に知ってもらうために、2005年より神経内科臨床および基礎研究に実際にふれてもらう機会として、金沢神経内科アカデミーを実施しています。2011年は、夏休みにもかかわらず昨年よりも多数の参加者を迎え有意義な臨床や研究の実習が行われました。

プログラム

7月23日(土)

- 9:30 参加者医局集合：オリエンテーション
- 10:00 病棟実習：主治医グループに参加し、患者診察や処置の見学
カンファレンスに参加
- 11:00 ブレインカッティング見学
- 12:30 ～ lunch time ～
- 13:30 中枢神経 MRI 画像の読み方 講師 古川 裕 先生
- 14:30 認知機能検査概要・見学
- 16:00 講演(1)「地域脳健診・認知症予防プロジェクト(なかじまプロジェクト)」
講師 篠原 もえ子 助教
- 講演(2)「神経内科のキャリアパス」 講師 山田 正仁 教授
- 17:00 写真撮影、終了
- 18:00 親睦会

7月24日(日)

- 9:00 医局集合：各研究実習の概要説明・実習(コース選択)
研究実習
- A) 神経病理 担当：坂井、小松、赤木
- B) 脳画像解析 担当：佐村木、池田^芳
- C) 神経化学 担当：小野、廣畑、池田^篤、高橋^良
- 12:00 ～ lunch time ～
- 13:00 研究実習続き
- 15:00 終了

<参加者>

東京医科歯科大学4年	青木華古
藤田保健衛生大学4年	本多純太
金沢大学4年	岡田晶子、小川憲人、皆川英之
金沢大学5年	杉森 慎
金沢医科大学5年	清水 愛
東京医科歯科大学6年	佐野達彦
福井県済生会病院研修医	米田詩織

